

# ～受賞者（15人）の工夫と感想～

# ～審査員からのコメント～

## ダブル受賞

審査委員長賞・にこリーナクッキング大賞  
本牧中学校 3年 綿貫 静菜（祖母へ）

＜ま・ご・は・や・さ・し・い＞  
孫は優しい防災お守り弁当

いつもお世話になっている祖母のお弁当を「ま・ご・は・や・さ・し・い」の食材を使って健康を考えて作った。同時に災害時でもごはんをきちんと食べられる工夫として、ポリ袋で調理することを考え、SDGsに配慮し、見栄えもきれいになるように作った。



成長を見守ってくださった祖母への感謝と健康への願いが、表現されていました。レシピの作成においても、伝えたい思いが溢れていました。静菜さんご自身の環境や家族への思いが十分伝わる「人・環境・未来を大切に作る宝箱」のお弁当に出会えた瞬間でした。（長島由佳）

横浜市立小学校長会 会長賞  
豊岡小学校 6年 伊藤 茜（友人へ）

夏野菜のカラフル弁当

横浜市庁舎の直売店で横浜の野菜をたくさん買い、カラフルで味のバランスも良いお弁当にした。時短することの良い点を知った。今回、他の人のお弁当作りのポイントを聞いて、お弁当をかわいくしたり、時短の工夫も知ったりすることができた。



横浜の野菜を使い、開けたら「わあっ、食べたいな」と思えるお弁当でした。ひとつひとつのおかずを丁寧にそして味を考えて調理しているのがよくわかりました。これからもお弁当作りに挑戦！（谷口なおみ・本庄則子）

横浜市立中学校長会 会長賞  
本牧中学校 3年 松野 琥太郎（祖父へ）

お箸いらずの食欲増進弁当

最近3食きちんと食べることが少なくなった祖父に栄養をとって欲しくて、箸を使わず、テレビを見ながら、おつまみ感覚でも食べられるお弁当を作った。海苔巻きが思った以上に大変だった。自分のお弁当を審査員にほめてもらえてうれしかった。



食の細くなったおじいさんを労わる気持ちが伝わってきます。箸を使わず気軽に食べられ、6つの食品群からバランスよく盛り込み、主食・主菜・副菜などの料理の組み合わせを考えた、食の相手を大切にしましたお弁当です。（遠藤まり・増田昌弘）

横浜市立特別支援学校長会 会長賞  
ろう特別支援学校 高3年 覚明 浩大（母へ）

虹色弁当

いつも母が作ってくれる美味しいお弁当は、見た目もきれいなので少しでも真似をしたいと思い、7色の食材を使ってカラフルに仕上げた。審査員から優しい言葉をかけていただいたおかげで、伝えたいことを言えた。参加してよかった。



お弁当箱のふたを開けたら、そこに七色の虹が見えました。美味しいものは舌だけでなく、目でも味わうと言います。いつも自分のことを思ってくれているお母様と一緒に食べたいという感謝の思いが伝わるお弁当でした。（長尾 一）

横浜市PTA連絡協議会 会長賞  
さつきが丘小学校 6年 羽田 莉空（母へ）

大きな～れ夏野菜弁当

お母さんのおなかの中にいる赤ちゃんが元気に産まれてきてほしいという思いで、このお弁当を作った。卵焼きにしらすを入れてカルシウムをプラスし、ハートの形にして可愛くした。審査員がやさしく声をかけてくれ、また挑戦したいと思った。



「大きな～れ夏野菜弁当」は妊娠8ヶ月お母さんに栄養をとって欲しいとの思いで作ったいろいろの綺麗なお弁当です。莉空さんの思いが伝わり、元気な赤ちゃんが産まれてよかったね。（竹原浩太郎）

JA 横浜賞

上飯田中学校 1年 羽田 美優（兄へ）

体力増し増し弁当

部活をがんばっているお兄ちゃんに、体力を増してもらうためにピーマンの肉詰めを作り、喜んでもらえてとてもうれしかった。兄にもっとお弁当作りたくなった。楽しく発表でき、一生の思い出にした。JA横浜の食教育でダイコンについて学べた。



横浜の地場産物もたくさん使って、見た目にもおいしそうで食べてみたいと思いました。ひよこのアイデアが可愛らしくよかったと思います。兄妹の仲の良さが伝わってきました。（安西久幸）